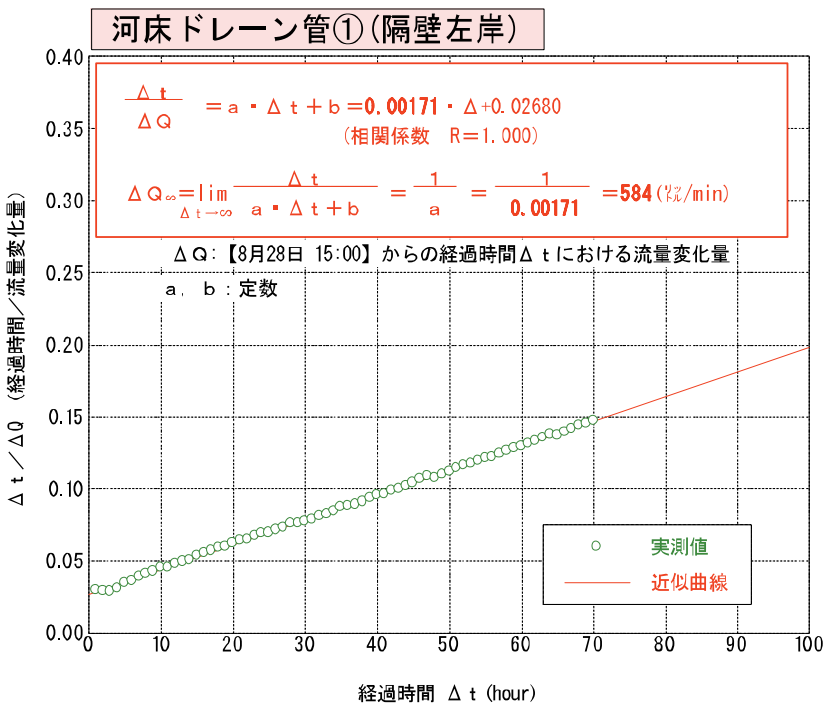
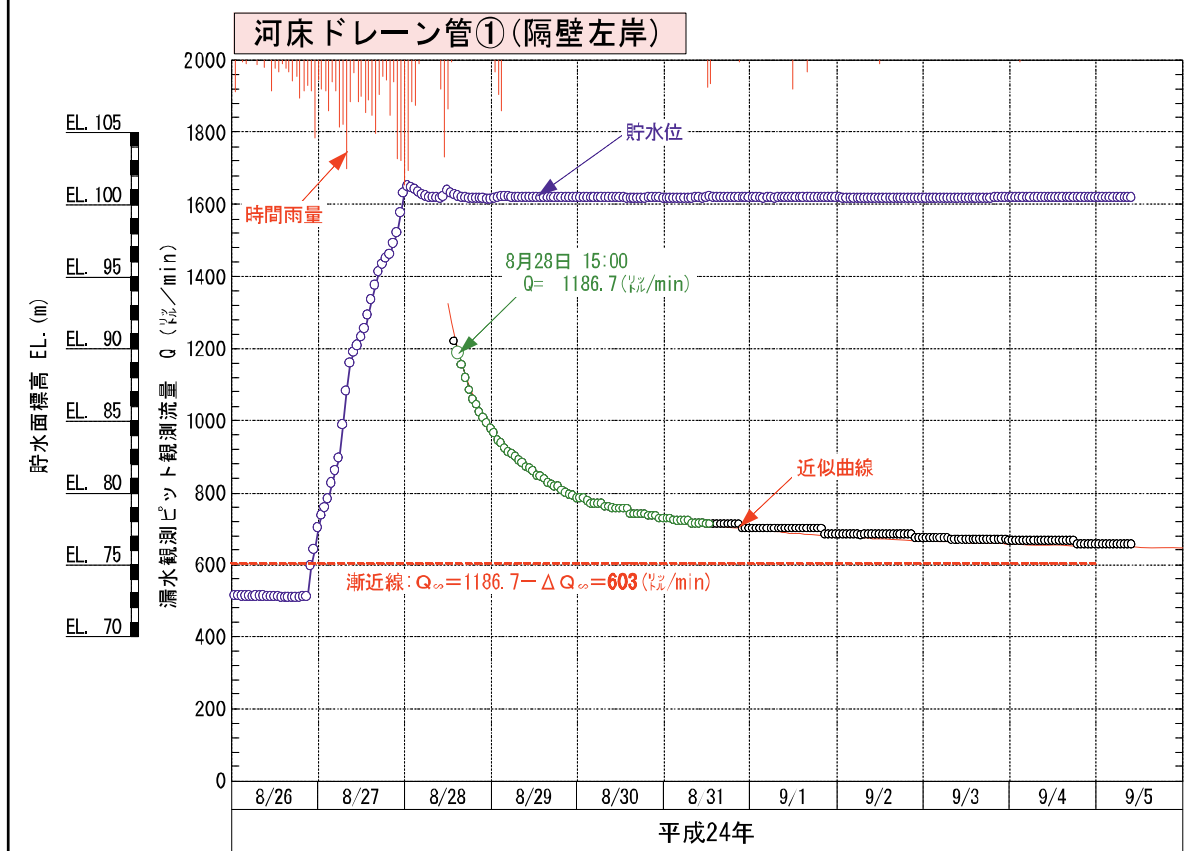


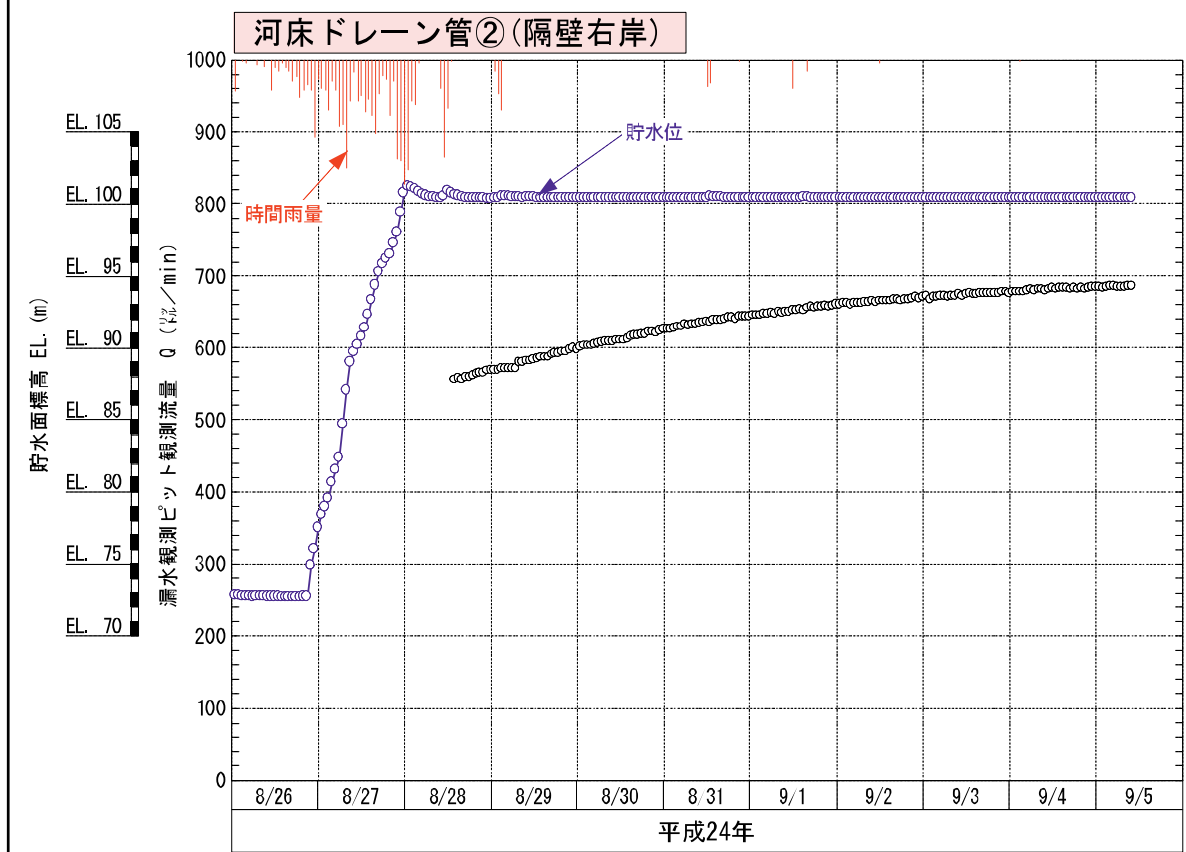
(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
19	平成24年度(H25.3/26)ダム員会資料(4/6) 常時満水位における浸透流量目安値 (降雨の影響を排除)の検討(2/4)



常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響を排除)の予測方法として、降雨浸透流量(推定値)を差し引く方法の他に、[第Ⅲ水位上昇期]当初において降雨が停止した8/28以降の浸透流量減少傾向から、貯水池浸透流量を予測した。

- ①: ある時刻からの経過時間 Δt と浸透流量の減少量 ΔQ の関係が双曲線関数で近似できると仮定し、経過時間を無限大にした場合の浸透流量減少量の漸近値を求めた。
- ②: 本図中に示す河床地山ドレーン、および左岸ドレーン管においては、高い相関性で双曲線に近似されており、最終的には図中にそれぞれ[漸近線]として示す流量に収束することが予測される。
- ③: 【図表番号 78,79】の相関図中には、ここで推定された常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響排除)を[予測量]として示した。



降雨の無い状態でも浸透流量増加傾向につき近似計算を省略

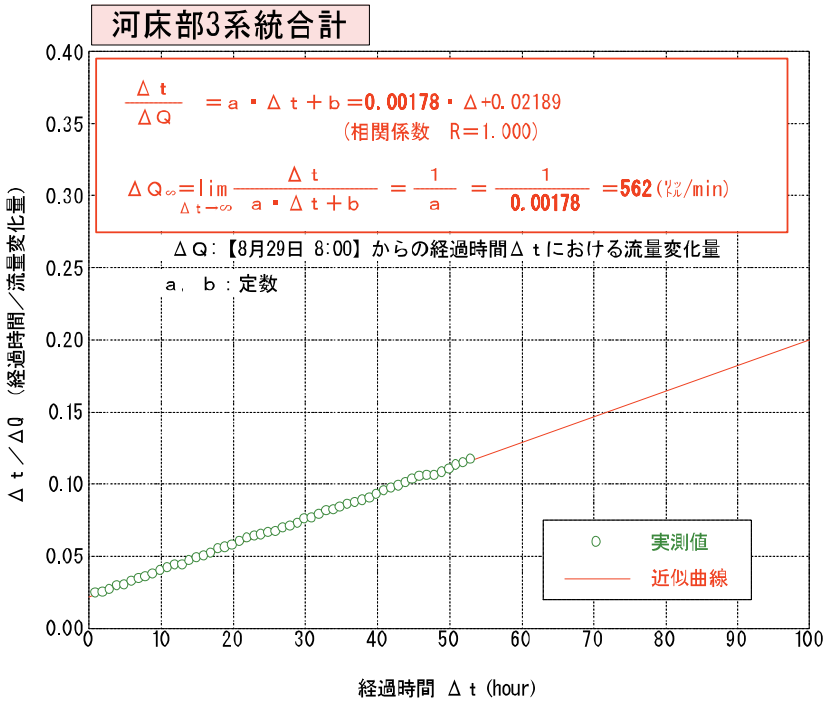
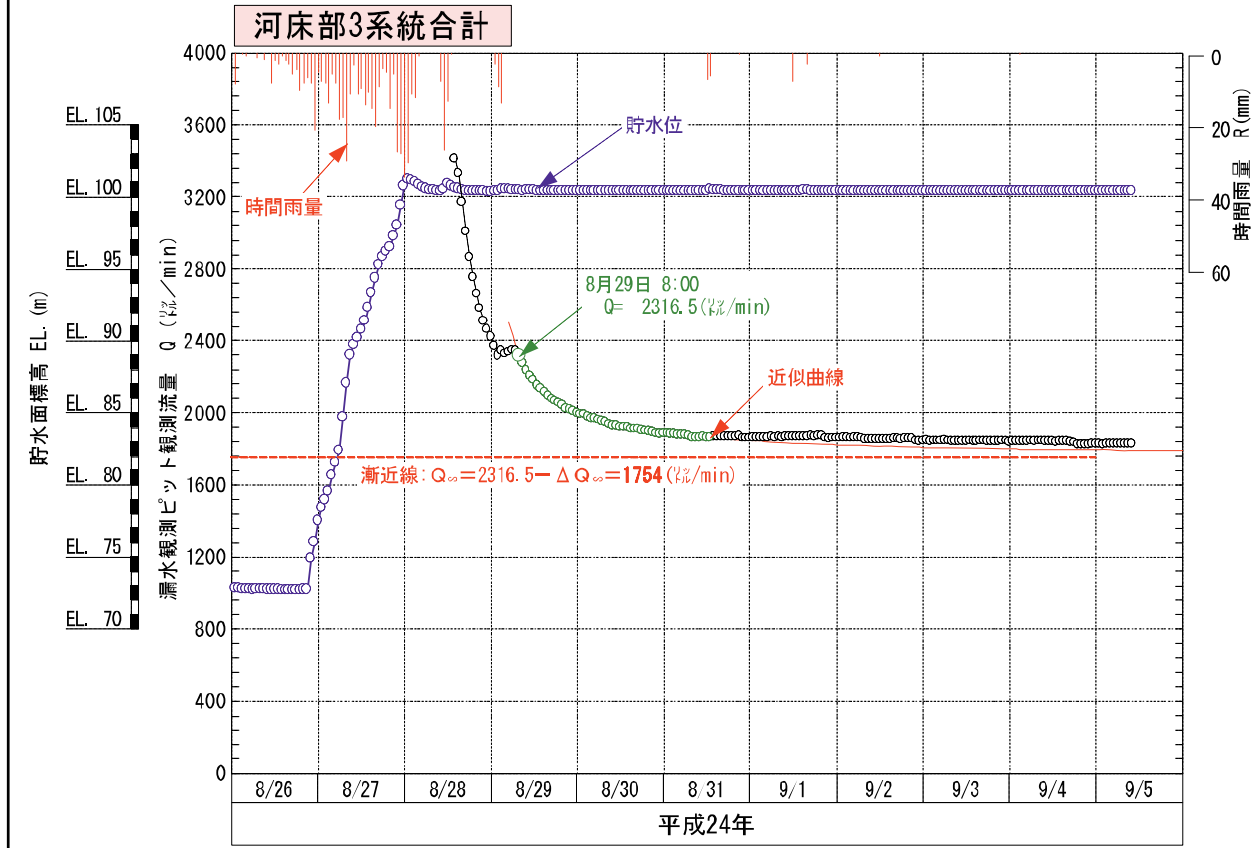
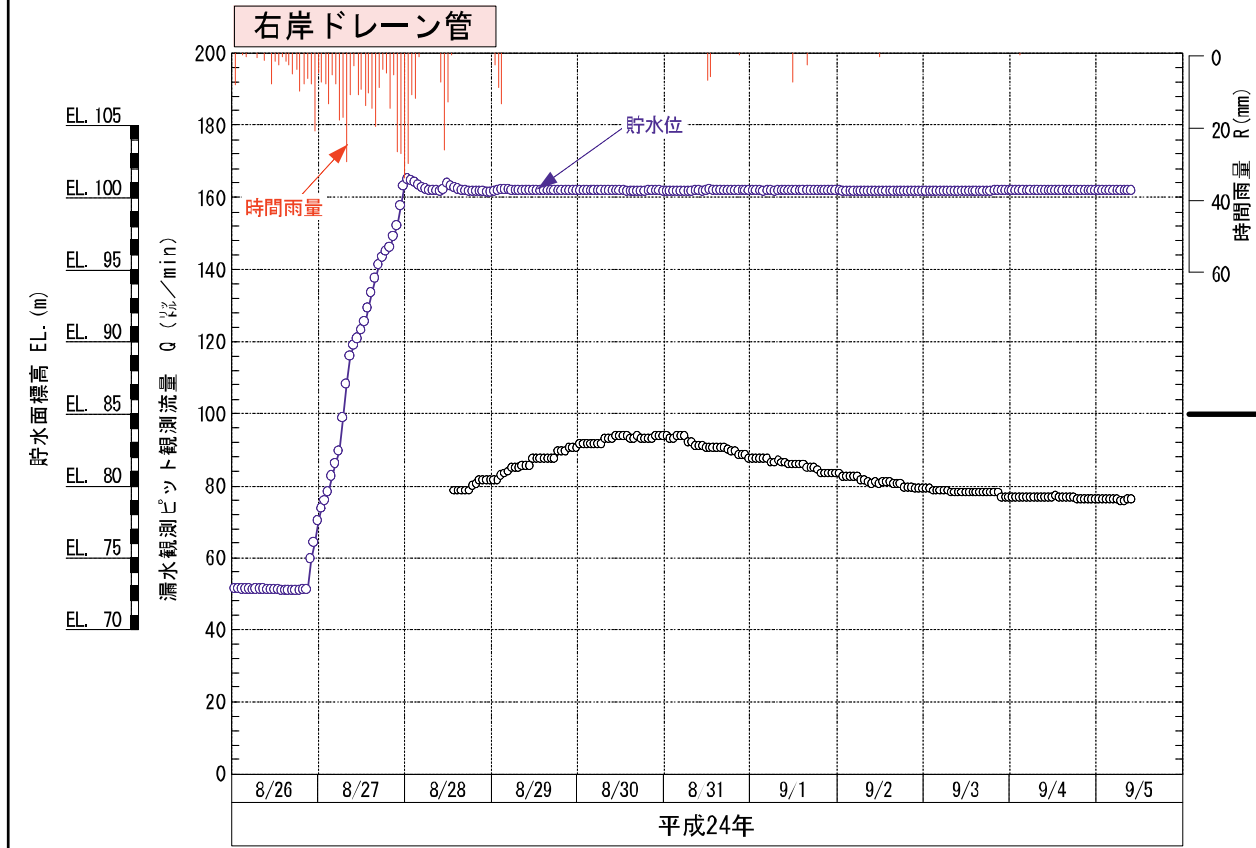
(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
20	平成24年度(H25.3/26)ダム員会資料(5/6) 常時満水位における浸透流量目安値 (降雨の影響を排除)の検討(3/4)

常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響を排除)の予測方法として、降雨浸透流量(推定値)を差し引く方法の他に、[第Ⅲ水位上昇期]当初において降雨が停止した8/28以降の浸透流量減少傾向から、貯水池浸透流量を予測した。

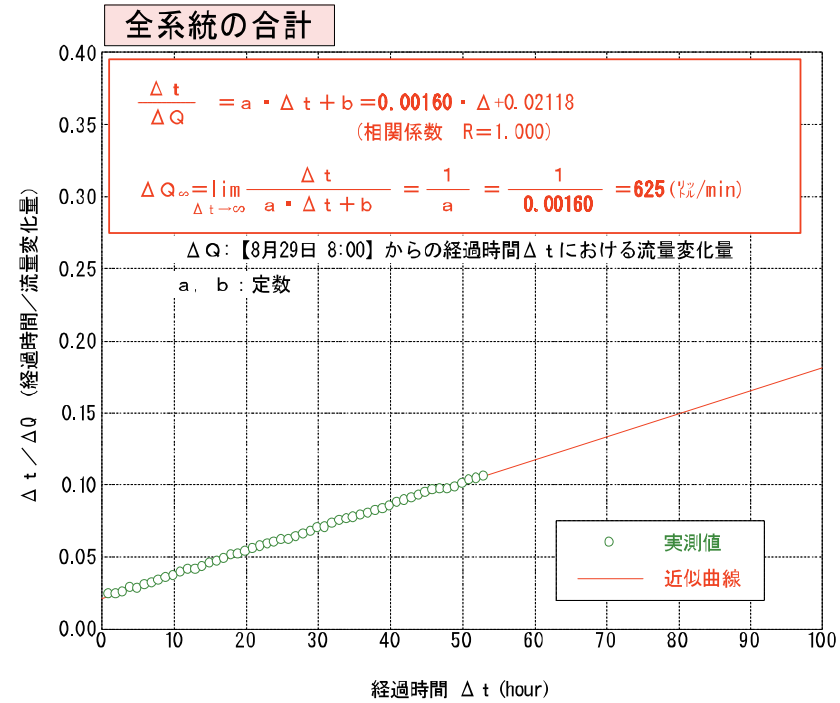
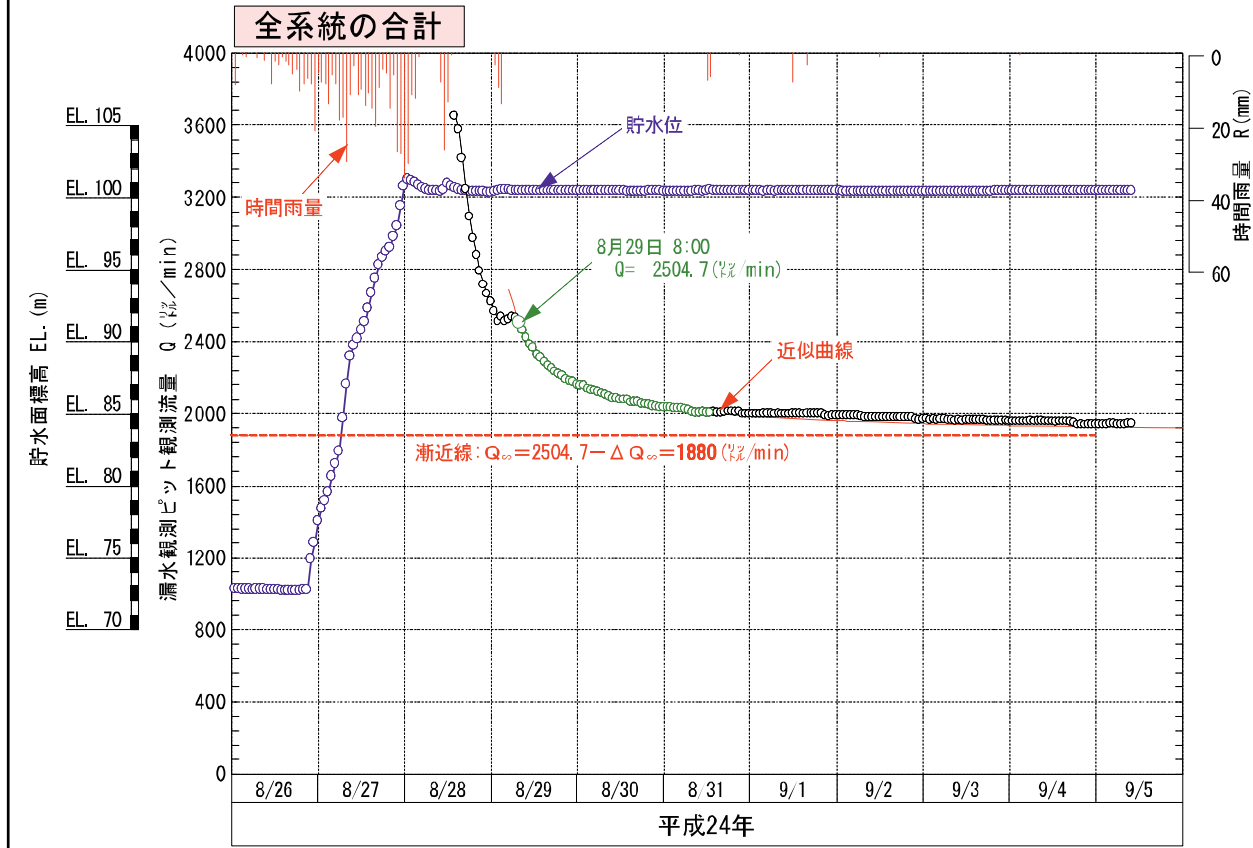
- ①:ある時刻からの経過時間 Δt と浸透流量の減少量 ΔQ の関係が双曲線関数で近似できると仮定し、経過時間を無限大にした場合の浸透流量減少量の漸近値を求めた。
- ②:本図中に示す河床地山ドレーン、および左岸ドレーン管においては、高い相関性で双曲線に近似されており、最終的には図中にそれぞれ[漸近線]として示す流量に収束することが予測される。
- ③:【図表番号 78,79】の相関図中には、ここで推定された常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響排除)を[予測量]として示した。

降雨の無い状態でも浸透流量増加傾向につき近似計算を省略



(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
21	平成24年度(H25.3/26)ダム員会資料(6/6) 常時満水位における浸透流量目安値 (降雨の影響を排除)の検討(4/4)



常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響を排除)の予測方法として、降雨浸透流量(推定値)を差し引く方法の他に、[第Ⅲ水位上昇期]当初において降雨が停止した8/28以降の浸透流量減少傾向から、貯水池浸透流量を予測した。

- ①: ある時刻からの経過時間 Δt と浸透流量の減少量 ΔQ の関係が双曲線関数で近似できると仮定し、経過時間を無限大にした場合の浸透流量減少量の漸近値を求めた。
- ②: 本図中に示す河床地山ドレーン、および左岸ドレーン管においては、高い相関性で双曲線に近似されており、最終的には図中にそれぞれ[漸近線]として示す流量に収束することが予測される。
- ③: 【図表番号 78,79】の相関図中には、ここで推定された常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響排除)を[予測量]として示した。

(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
22	平成26年度(H27.1/8)ダム委員会資料(1/9) 浸透流量目安値の検討(1/2) (貯水位下降過程に準拠; 近似直線)

